

# Orville Thunder-Bird E-EB-3 Orville

## by Gibson

### Orville by Gibson TB/Thunder-Bird

常にシーンのトップに位置することを義務づけられたギブソンが送り出したファイアーバードのベースバージョンである「サンダーバード」は、ショッキングなリバスシェイプと20フレット、34インチロングスケールネック、ギブソンならではの重々しいサウンドで当時のベースリストの度胆をぬいた。そして最先端のベースシーンにおいても、その斬新なスタイル故に、EB-3と並び今なお個性派プレイヤーに愛され続けている。

オービルのTBはネックジョイント方式を除いてはサンダーバードⅡをベースにし、2ハムバッカー、白いスクラッチプレート上のエンブレムもそのまゝの、まさにオリジナルを称し得る完成度の高い逸品である。

- Neck Specifications:**  
 マホガニー、セットネック  
 34"スケール、ローズウッドフィンガーボード  
 20フレット、ドットポジションマーカー  
 10"ビッドバネヘッドW/Orville by Gibsonデカル  
 コナルプレートマシニング
- Body Specifications:**  
 マホガニー  
 オリジナルサンダーバードシェイプボディ
- Hardware Specifications:**  
 2xギブソンオリジナル(U.S.A.)「サンダーバード」ピックアップ  
 EMGリニアム、トランス  
 ニックルプレートオリジナルTBブリッジ  
 ボワイピックガード、ボディトップシヤック
- Finish:**  
 VS(アミンチリコンパースト)  
 EB/マホガニー、AN/アルペンホワイト

Orville by Gibson  
TB/Thunder-Bird VS

### Orville EB-3/SG Bass

ベース・シーンにおいては、ギターほど目立つことのないギブソンであるが、61年、それまでのレス・ポールスタイルからSGシェイプに生まれ変わったEB-0を手はじめにEB-0L、EB-0F、6弦のEB-6さらにはリッパー、グラバーにいたるまで様々なベースを送り出してきた。

中でもEB-3は、ロックの流れを変えた伝説のバンドの出現で一躍脚光を浴び、SGベースの名でシーンに数々の足跡を残した。オービルがそのラインに加えたのは、様々なマイナーチェンジがあったEB-3の中でも最も完成度が高かった63年バージョンをベースに、全体のバランスを考慮してスモールヘッド、細く薄いネックそしてスムーズなジョイントシステムを採用し、最新のニーズにパーフェクトに応える堂々たる風格で登場。

- Neck Specifications:**  
 マホガニー  
 30 1/2"スケール、ローズウッドフィンガーボード  
 20フレット、ドットポジションマーカー  
 1 1/2"ビッドバネヘッドW/Orville & クラウンインレイ  
 クロームプレートマシニング
- Body Specifications:**  
 マホガニー  
 SGシェイプダブルカットウェイ
- Hardware Specifications:**  
 オービルオリジナルムハットキング&シングルピックアップ  
 2xオリジナル、2xトームス、ロータリー、ピックアップセレクタースイッチ  
 クロームプレートオリジナルEBブリッジ  
 ブラックピックガードW/フィンガーレスト、ボディトップシヤック
- Finish:**  
 HC(ハバナレイクシェー)



Orville by Gibson  
TB/Thunder-Bird AW



Orville  
EB-3/SG Bass HC



EB-3 Pick-up Selector  
Operation

EB-3は2つの異なるピックアップをマウントしている。フロントはシングルで、後者のレスポンスが拡大される一方、リアはハムバッキングで、高音域が強調される。それぞれのピックアップは個別にVolとToneのコントロールがあり、ピックアップ・セレクターは4つのポジションで次の様に動作する。

1. ポジション1……フロントのみ作動
2. ポジション2……リアのみ作動
3. ポジション3……フロントとリアを同時に作動
4. ポジション4……フロントのみ作動

※ポジション4の時のフロントピックアップはコンチンサーとチョークコイルを通じて作動するため、ポジション1の時と異なり最低周波数レスポンスが低まり、より豊かであるサウンドが得られる。